



# ゆり中だより

三田市立ゆりのき台中学校

令和4年12月23日 第10号

＝学校教育目標＝

「命」と「心」を大切に、「夢」を描き、輝かしい「未来」に向け前進する生徒の育成

## ≪ 1月の行事予定 ≫

## 2学期よく頑張りました！

2022年よさらば、そして2023年へ、志を高く！  
2学期終業式、やはり3学年がそろふことなく校内放送により、各学年各教室で行いました。終業式の式辞の一部を紹介します。

生徒の皆さん、いよいよ今日で2学期も終わりですね。そして、2022年、令和4年もあと少しで終わりです。皆さんにとって、2学期はどうでしたか？また2022年は、どんな年でしたか？

2学期の振り返りは、懇談で担任の先生や保護者の方と3者で、3学期に向け有意義な話ができたと感じます。「通知表」、全員の通知表、先生も読ませていただきました。全員の通知表に共通して言えることは、担任の先生の皆さん一人一人への熱い思い、そして2学期こんなふうに頑張ったんやなって皆さんの姿が思い浮かんだことです。「通知表」は、担任の先生からのエールです。どうか、皆さん、担任の先生からのエールをしっかり受け取り、3学期さらに成長してください。

さて、明日から冬休みです。今年は、17日間あります。ゆりのき台中学校の伝統「自ら主体的に考え行動する」ことができる皆さんですから、有意義に過ごして欲しいと思います。

特に3年生は、懇談でめざす進路も決定したと思います。後ろを振り向かず、前へ、前へ、前進あるのみです。自ら決定した、めざす進路に自信と誇りをもって学習に取り組んでください。

休み中「年」も変わります。「一年の計は元旦にあり」ともいいます。新たな年への「自らの抱負」をもって、始業式、元気な姿を見せてください。楽しみにしています。

さて2022（令和4）年、保護者の皆様、地域の皆様には、本当にお世話になりました。ゆりのき台中学校を、ご支援、ご指導いただいた皆様に、心よりお礼申し上げます。第8波ともいわれる「新型コロナウイルス感染症」については、依然厳しい状態が続いています。また、寒さもいっそう厳しくなる季節です。皆様、どうぞご自愛ください。

### ゆり中生徒会発タブレットマナー5か条を考えよう

17日間の冬休みを迎えるにあたり、生徒の皆さん、また保護者の皆様、ご家庭においても考えていただきたいのが「タブレットマナー」についてです。インターネットやアプリは、正しく使うことが

できればとても役立つ便利なものです。これからの社会を生きていく上においても欠かすことのできない必須アイテムです。しかし、事件に巻き込まれるきっかけになったり、いじめのきっかけになったりしているのも事実です。冬休みは、新たな電子機器を手に入れたり、利用する機会が増える時期です。学校においても生徒会を中心に一緒に考える時間を持っていますが、この冬休み、ご家庭においてもお子様と一緒に考える機会を持っていただければと思います。生徒指導通信「優」から一部抜粋し掲載します。（生徒指導通信は、ゆり中HPにも掲載しておりますのでご覧ください。）

### SNSのトラブルには十分に注意しよう!!!

2022年度生徒会役員が中心となって、1学期に『ゆり中タブレットマナー5か条』を作成しました。昨年度と比較しても、タブレットやスマホ（個人所有）等によるSNSトラブルは減少傾向にあります。しかし、ゼロではありません。冬休みに入り、家で過ごす時間も増えるでしょう。そして、ついついタブレットやスマホをさわってしまいがち。

前回の注意点と重なりますが、以下のことに気をつけて、情報社会と上手に付き合ってください。

1. うっかり書きこみ…「軽い気持ち」「悪気はなかった」の行為が人を傷つける

2. 写真・動画をアップ…一度ネットにあげられた情報は、一生削除できません。

他にも多数、気をつけなければならぬことがあります。あなたが発信しようとしている内容は誰がみても安心できる内容ですか。誰の心にも「優しさ」の花が咲きますように…

### 地域の方からの1本の電話

先日、「地域の方」から1本の電話が学校にありました。その方の家の自転車のカバーが風で飛んでいたようです。本校の生徒がそれに気づき、きれいにカバーをたたみ、玄関先に「お留守でしたのでここに置いておきます」と手紙を添えて置いていたそうです。その方は大変喜ばれ「地域にはこんな素晴らしい中学生がいたんですね、是非褒めてやってください」と心温まるお言葉をいただきました。次の日、私が放送で呼びかけると、2年生の女子2名が校長室に来てくれました。その方のお礼の言葉と、私からも「ありがとう」を伝えました。2名の生徒は「困っておられるだろうな」と思って行動したそうです。相手のことを思い、今自分にできることを考える

～ ゆり中 タブレットマナー5か条 ～

- 第1条 大切に扱う
- 第2条 人のiPadを勝手に触らない
- 第3条 許可なく人の写真を撮らない
- 第4条 iPadを使用する本来の目的を考える
- 第5条 時と場合を考える

日	曜	行事等	講師	給食
1	日	冬季休業 年始休業（学校閉庁）		
2	月			
3	火			
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			
8	日			
9	月	↓ 成人の日		
10	火	3学期始業式 ノー部活デー	SC	
11	水	実力テスト	SSW	1・2・3
12	木		子サ	1・2・3
13	金			1・2・3
14	土	命を考える日		
15	日			
16	月	安全点検日 ノー部活デー	子サ	1・2・3
17	火	専門委員会 避難訓練	SC 子サ	1・2・3
18	水	1年わくわくオーケストラ教室 <u>1年のみ弁当</u>	SSW	2・3
19	木	全校集会	子サ	1・2・3
20	金		SC	1・2・3
21	土	オープンスクール<弁当> 入学説明会 ノー部活デー		
22	日			
23	月	1/21 代休		
24	火	ノー部活デー	SC 子サ	1・2・3
25	水		SSW	1・2・3
26	木		子サ	1・2・3
27	金			1・2・3
28	土			
29	日			
30	月	ノー部活デー	子サ	1・2・3
31	火		SC 子サ	1・2・3

子サ：子どものサポーター SC：スクールカウンセラー  
 SSW：スクールソーシャルワーカー 【最終下校】17:00  
 ≪2月の主な予定≫  
 7：専門委員会 8：全校集会  
 10：私立高入試 15、16：公立高推薦・特色選抜入試  
 20～22：学年末考査



動した2名の生徒、大変素晴らしく、誇りに感じました。私も含め見習っていききたいですね。

## 生徒会が引き継ぎ

1日(木)ゆり中の学校の要である「生徒会」の選挙が行われ、新しい生徒会の役員が誕生しました。生徒会活動は、学校における自分たちの生活の充実発展や、学校生活の改善向上をめざすために、生徒の立場から自発的、自治的に行われる活動です。よく言われる「生徒の生徒による生徒のための生徒会」です。現生徒会の皆さんは、役員を中心に「コロナ禍」のなか、感謝の集い、タブレットマナー5か条の作成ならびに呼びかけ等、今できることを工夫し、皆でチャレンジし、大きな成果を収めてくれました。新生徒会の皆さんも、先輩の思いを受け継ぎ、after コロナを見据えた活動にも新たにチャレンジしてください。ここでは現生徒会長からのメッセージを掲載します。(新役員の皆さんの抱負等は1月号に掲載します。)

現生徒会長：生徒会役員みんな、お疲れ様。そして生徒会活動に関わって下さったすべての方々、ありがとうございました。こうして大役を終えられたのも皆さんのおかげです。ここでぼくらしく英語で名言を。It seems impossible until it's done.「それを終えるまでは、それは不可能に見える。」やってみないとわからない。やってみたらできることのほうが多いのです。何事にも挑戦し続ける、そんな生徒会、そして今後のより良いゆりのき台中学校をつくっていきましょう！みんな、ほんまにありがとう。

## フラボー！熱いのはW杯だけじゃない！

### サッカー部怒涛の快進撃で県大会3位に躍進

12月10日(土)11日(日)三木総合防災公園で、第42回兵庫県中学校サッカー新人大会が行われました。本校サッカー部は丹有地区代表として出場しました。私も応援に駆け付けましたが、1,2回戦を粘りに粘り、大接戦で突破、準決勝で優勝した関学に惜敗しましたが、第3位という素晴らしい結果を残しました。ここでは、主将、顧問の先生からの「県大会を終えて」のコメントを紹介します。

主将：県大会を3位で終わることができ、とても嬉しいです。今まで全員でやってきた努力は裏切らないということを身にしみて感じることができました。同時に僕たちは県のレベルでどれくらいなのか、今後さらに勝つにはどれだけのことをしないといけないのかも実感できました。これからも応援よろしくをお願いします。

顧問：このチームは、「県大会出場」を目標に新チームとしてスタートしました。取り立てて秀でた選手がいるわけでもなく、実際丹有

大会でも一回戦はPK戦勝ちという辛勝でした。勝ち進んでいく毎に、各自のチームでの役割がより明確になり、チームワークが増していきました。ワールドカップの影響もあったのか、県大会ではジャイアントキリングをくり返し、予想を上回る結果を残すことができました。準決勝は大敗を喫しましたが、県3位ということに恥じない取り組みを今後もしていきたいと思えます。



## 全国学力学習状況調査の結果から<前半>

令和4年度の調査(3年生対象)の結果を要約しています。紙面の都合上、冬休み号には、「教科に関する学力調査」の「国語」「数学」「理科」を、1月号に「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」について掲載します。

1 教科に関する学力調査(※○はよいところ、●は課題と解決策です)

○国語、数学、理科の全教科、全体を通して優良な結果でした。

(1) 国語

○「スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す」問題、「スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く」問題、「表現技法の名称を書き、同じ技法が使われているものを選択する」などの問題は、全国平均を大幅に上回っています。朝学習や授業の振り返りの中で、練習問題に計画的に取り組み、基礎的な知識の定着が図られているうえに、教科指導やアクティブラーニング等の言語活動に積み重ねの成果が表れていると考えられます。

●「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」問題については、全国平均を上回っているものの、正答率に課題がありました。今後は授業の中で、本や資料から文章や図表などを引用して説明する活動を取り入れ、情報の整理の仕方や、引用の仕方、出典の示し方などについて理解できるよう取り組みを進めます。

(2) 数学

○「数と式」の領域では、正答率も高く、基本的な計算能力が身につけています。朝学習での計算練習、日頃の授業や問題集の

取り組みなどにより、計算練習が良くできていると考えられます。また、「証明の根拠として用いられる三角形の合同条件」を書く問題では、正答率が非常に高く、平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解が高まっています。証明の問題で、何度も問題に取り組みせることによって身につけていると考えられます。

●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られます。授業の中で、図、グラフ、文章など様々な表現をされた情報を関連づけ、条件を整理し、数学的に表現を行う機会を増やしていきます。また、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することにも課題が見られます。今後は、問題解決型の授業構成を増やし、問題の自力解決を行い、それをもとに、グループワーク等考えを深めていく中で、数学的な表現を行うことに慣れていく機会を増やしていきます。

(3) 理科

○理科における基礎的な知識事項についての学習が確実に進められており、それを活用した課題の解決を図る学習が進められている様子が見えます。質問紙からも、おおむね理科の内容理解が進んでいると感じられます。既習内容を生活で活かそうとする姿勢も上がっており、授業での実験・観察経験、計画を立てて考察する経験の成果が表れています。

●おもりにたらく重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明することは、全国的にも本校においても課題です。今後は、実験・観察を通して得た結果を活用する活動を増やし、結果からの考察を考えさせていきます。

## 12月・1月の自動応答メッセージ

12月・1月の「自動応答メッセージ」運用時間は以下のとおりです。この時間帯に、学校にお電話をいただいた場合、自動応答メッセージが流れ、通話することはできません。ご理解をお願いします。

<平日>17:00-翌朝7:45

<土日祝休日、学校閉庁(12月29日~1月3日)> 終日

※運用開始時間は、最終下校時間にあわせています。

なお、本校では昨年度3学期より、PTAのご支援のもと、欠席連絡等にメールサービス(ミマモルメ)を活用しています。土・日・祝休日も受付をしていますので、感染症や部活動の欠席等の連絡にもご利用いただきますようよろしくお願いいたします。ミマモルメの連絡の受付は、欠席・遅刻日の前日17時00分から当日8時30分まで(休日は終日)となっておりますのでご注意ください。